



第86期
中間報告書

(令和3年3月1日から
令和3年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第86期上半期(第2四半期連結累計期間：令和3年3月1日から令和3年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

令和3年10月

代表取締役社長

岡谷健広



営業の概況

◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大や半導体供給不足等の影響はありましたが、米国と中国を中心に景気回復が進みました。日本経済は、個人消費は伸び悩みましたが、製造業の生産活動は回復傾向が続きました。

このような環境において、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,583億97百万円で前年同期比25.7%の増収となりました。

営業の概況

損益につきましては、売上総利益が313億83百万円（前年同期比29.9%増）、営業利益が106億39百万円（前年同期比116.5%増）、経常利益が129億22百万円（前年同期比72.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億19百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり115円とし、支払開始日を10月29日とさせていただきます。

◆ 通期の見通し

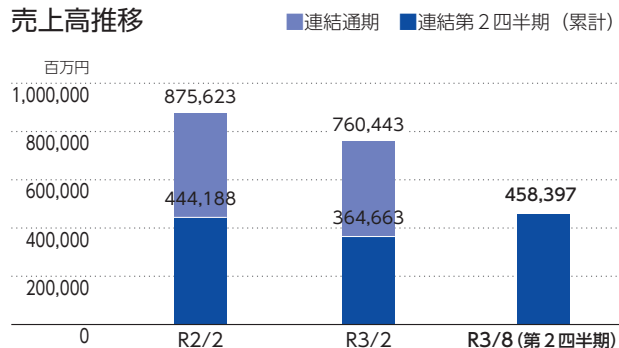
当期業績は期初予想を上回るペースで推移しており、令和3年3月31日公表の連結業績予想を修正いたしました。

当社グループの令和4年2月期の連結売上高は9,000億円、営業利益190億円、経常利益230億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円を見込んでおります。

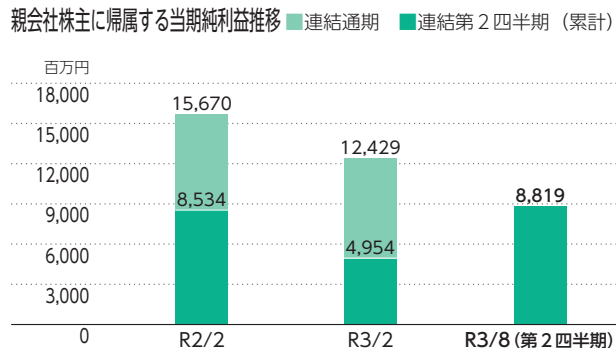
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

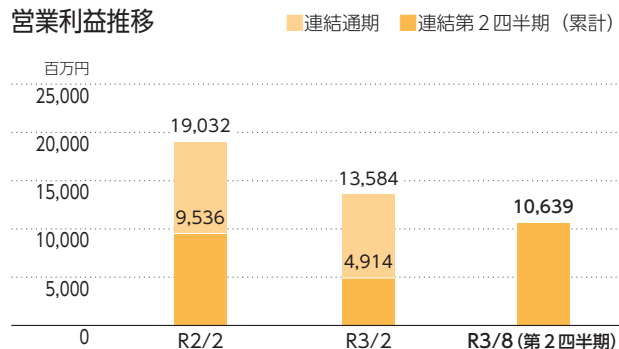
売上高推移



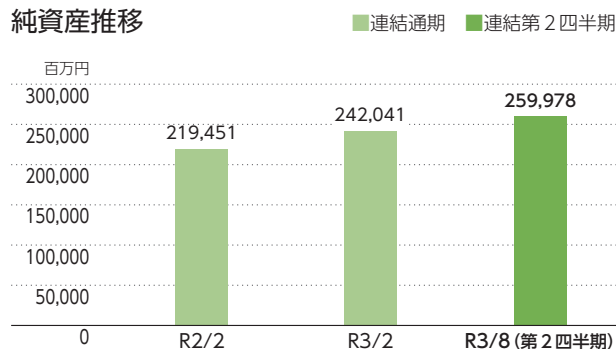
親会社株主に帰属する当期純利益推移



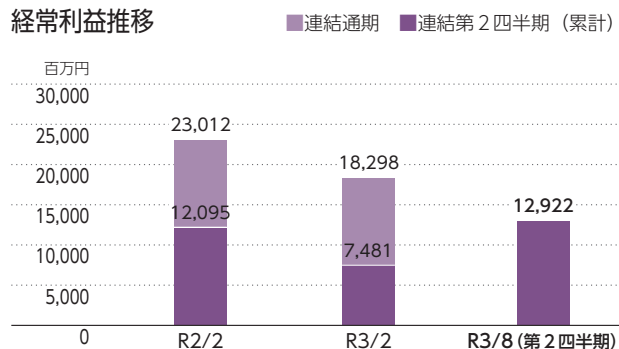
営業利益推移



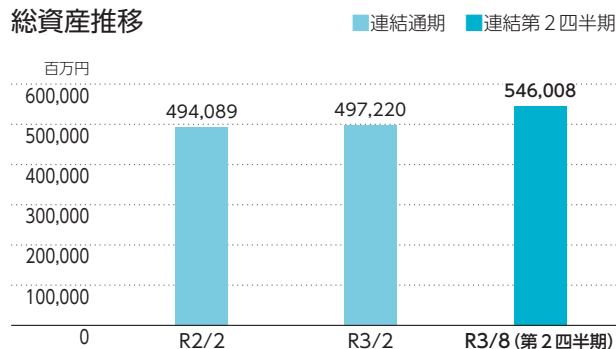
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. 新中期経営計画「Global Innovation Challenge 2025 (GIC 2025)」を策定

令和7年度（2025年度）を最終年度とするグループ新5ヵ年中期経営計画「GIC 2025」を策定しました。世界市場において新たな価値の提供に挑戦し続けることで、次なる時代を切り拓き、世界の産業と地域の持続的発展に貢献してまいります。

<GIC 2025基本方針>

G：岡谷グループ国内外の拠点を拡充し、地域に根差した事業を構築します。

I：デジタル技術を活用したビジネスモデル（DX）によって商社機能を柔軟に進化させ、新たな価値を提供します。

C：社員一人一人が明るく自由闊達な組織の中で主体的に挑戦します。

<2025年度連結業績目標>

売上高 1兆円以上 当期純利益 200億円以上

2. 健康経営優良法人2021に認定

令和3年3月に「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定されました。従来から実施してきた、従業員の健康維持・増進に向けた活動が評価されたものです。併せて、当社のグループ会社7社が「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」に認定されました。

3. 西関東営業所を開設

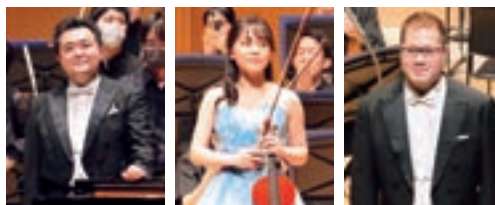
令和3年4月に、西関東営業所を開設しました。西関東エリアにおける自動車・医療・産業装置分野等のビジネス拡大を目指します。

4. 義援金寄付

令和3年7月伊豆山土砂災害への義援金として30万円、8月豪雨災害への義援金として100万円を国内グループ会社と共に社会福祉法人愛知県共同募金会へ寄付しました。

5. チャリティーコンサートを開催

令和3年7月に、今回で9回目となりますチャリティーコンサートを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客にて開催し、その模様をテレビ放映及びインターネット配信しました。なお、地域の社会福祉向上のため、当社から200万円を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。



6. 「JR春日井駅南東地区 第一種市街地再開発事業」が竣工

令和3年8月に、「JR春日井駅南東地区 第一種市街地再開発事業」が竣工しました。本事業は、平成29年2月より参画、事業協力を行ってきたもので、都市機能が集約されたコンパクトシティを形成し、駅周辺の活性化に繋がる複合再開発事業です。



セグメント情報

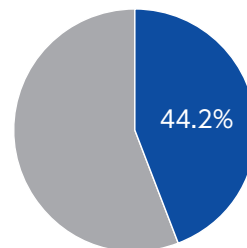
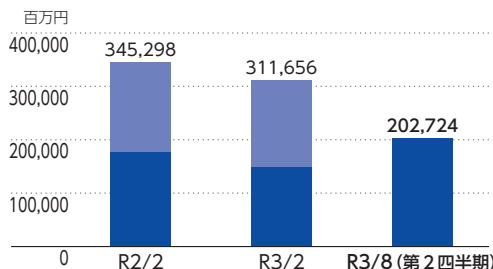
鉄 鋼



(取扱品目)

鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、製造業向けを中心に増加しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の生産が回復し、国内外で増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、生産活動の回復に伴い、米国・中国・アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,027億24百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

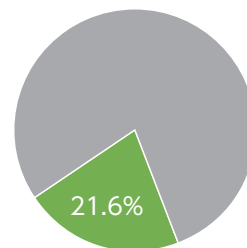
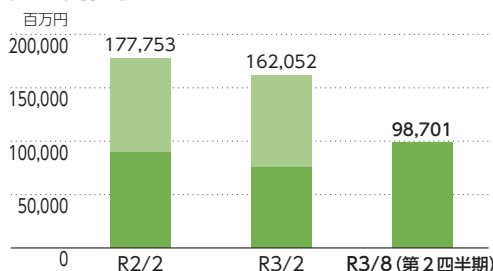
情報・電機



(取扱品目)

銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門は、銅・アルミ価格の上昇に加え、好調な家電関連に支えられた電子部品用材料及び車載部品用材料が増加しました。

エレクトロニクス部門は、パソコン向けを中心に半導体供給不足の影響はありましたが、車載部品、FA及び医療機器関連が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、987億1百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

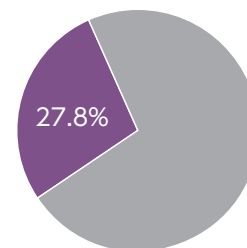
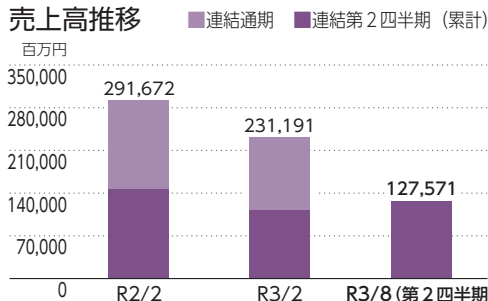
産業資材



(取扱品目)

工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他

売上高推移



化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、国内外での自動車関連及び国内の住設向けが増加しました。

メカトロ部門は、航空機向け部材及び自動車関連の設備は減少しましたが、車載部品・工具類が増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、1,275億71百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

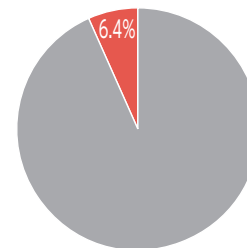
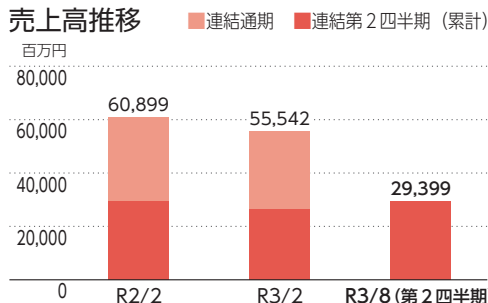
生活産業



(取扱品目)

配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管建設部門は、エネルギー関連は減少しましたが、分譲マンションの販売及び住宅機器向け部材が増加しました。

食品部門は、鶏肉の輸入取引は減少しましたが、水産物の輸入取引が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、293億99百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (令和3年8月31日現在)	前連結会計年度 (令和3年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	315,982	290,935
固定資産	230,026	206,284
有形固定資産	52,427	44,308
無形固定資産	2,144	2,288
投資その他の資産	175,453	159,687
資産合計	546,008	497,220
負債の部		
流動負債	229,648	198,217
固定負債	56,381	56,962
負債合計	286,030	255,179
純資産の部		
株主資本	177,030	169,318
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	160,572	152,860
自己株式	△ 469	△ 468
その他の包括利益累計額	72,494	62,475
その他有価証券評価差額金	69,568	59,304
繰延ヘッジ損益	23	21
為替換算調整勘定	41	△ 36
退職給付に係る調整累計額	2,860	3,186
非支配株主持分	10,453	10,247
純資産合計	259,978	242,041
負債純資産合計	546,008	497,220

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (令和3年3月1日から 令和3年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (令和2年3月1日から 令和2年8月31日まで)
売上高	458,397	364,663
売上原価	427,014	340,505
売上総利益	31,383	24,158
販売費及び一般管理費	20,743	19,243
営業利益	10,639	4,914
営業外収益	3,361	3,450
営業外費用	1,078	883
経常利益	12,922	7,481
特別利益	67	112
特別損失	16	235
税金等調整前四半期純利益	12,972	7,358
法人税、住民税及び事業税	3,902	2,262
法人税等調整額	△ 104	92
四半期純利益	9,174	5,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	354	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,819	4,954

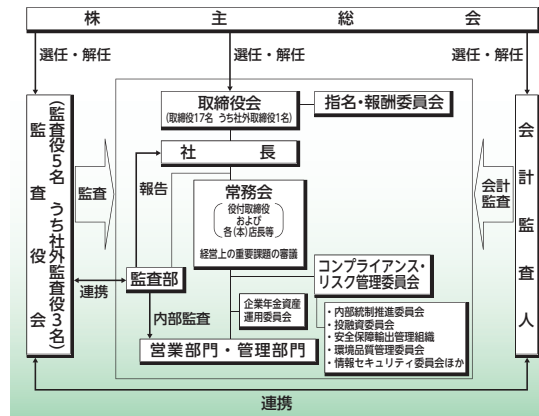
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <https://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期末（令和3年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ*5kg》をお贈りいたします。

なお、当期末（令和4年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ*5kg》をお贈りいたします。

※令和2年産米の食味ランキングにて最高位「特A」を愛知県産米で初めて取得しました。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、当第2四半期末（令和3年8月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード1,000円相当》を、当期末（令和4年2月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りいたします。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。
確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。

会社概要 (令和3年8月31日現在)

会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創業	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
就業人員	連結 5,204名 単体 697名
URL	https://www.okaya.co.jp/

役員

代表取締役社長	岡谷健広
代表取締役副社長	馬場紀彰
常務取締役	平野隆裕
常務取締役	矢島光
常務取締役	坂田和元
取締役	河村藤志
取締役	佐藤英雅
取締役	大笠野秀
取締役	仲宗根佳
取締役	犬井崎良
取締役	長崎林宏
取締役相談	今谷篤一
取締役	坂井俊司
取締役	島田晴雄
常勤監査	山田正道
常勤監査	大田純
常勤監査	上田栗川
常勤監査	小川宏由
常勤監査	中川賀

ネットワーク

1. 当 社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル)
	東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、安城、 北関東(小山市)、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、東北(仙台市)、 新潟、北陸(富山市)、 中国(広島市)、九州(福岡市)

2. 関係会社等

国内	(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他
海外	米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアム スリヤ会社(タイ)、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

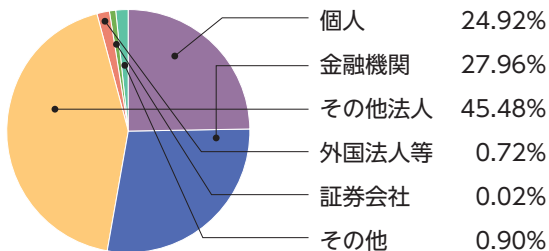
株式の状況 (令和3年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200株
発行済株式の総数	9,720,000株
株主数	3,938名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.01
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄株式会社	434	4.51
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	188	1.95
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式(86,972株)を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

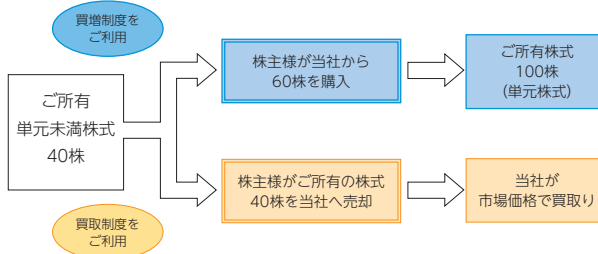
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

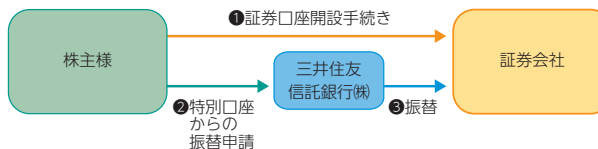
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
 株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
 中間配当 8月31日

公告の方法 電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<https://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。